



Japan Wi-Fi

POPCHAT-X DashBoard

機能仕様書

Wi-Fi利用者の端末の稼働状況の把握

Wi-Fi利用者の各種端末が現在どのような状態にあるのかを準リアルタイム※1で表示します。Wi-Fiオーナーは帯域を圧迫している端末をロックしたり、認証に失敗してロックされてしまった端末を認証状態に移すことができます。

各種ログダウンロード

Wi-Fiオーナーは**POPCHAT-X**配下で行われた認証、接続、制御に関するログをダウンロードすることができます。ダウンロードできるログはダウンロード時点からみて先月分となります。より大規模なログ分析をご希望の場合は**LBM Dynamics**をご利用ください。

Wi-Fi利用統計を元にしたログ解析

Wi-Fiオーナーは**POPCHAT-X**配下で行われた認証、接続、制御、Wi-Fi利用統計によるアンケート結果を利用した簡易ログ解析が実行できます。総接続数や性別比率のデータが、「本日」※2または「今月」※2という単位で集計できます。

POPCHAT-X本体や配下の外部機器の死活監視

Wi-Fiオーナーは**POPCHAT-X**本体や、**POPCHAT-X**配下に設置している外部機器の死活監視を行うことができます。**POPCHAT-X**は1分毎にクラウドに接続を行うため、準リアルタイムに**POPCHAT-X**本体の死活が確認できます。また外部機器のIPアドレスを監視対象に登録することで、24時間に1度の自動PING監視と、任意のタイミングでのPING監視を実行することができます。

※1「準リアルタイム」とは～3分以内を指します。

※2「本日」=> 閲覧日の 0:00 ~ 集計開始時点まで
「今月」=> 閲覧月の1日0:00 ~ 集計開始時点まで

タブ名	機能説明
ホーム	POPCHAT-X が収集したログや、ユーザーの回答したWi-Fi利用統計の結果から、本日・今月の単位でログ集計し、簡易的な解析を行います。現在のユーザー利用状況の概要を知ることができます。一部の集計はWi-Fi利用統計をONにしないと利用できません。
稼働状況	POPCHAT-X 配下で使用されているユーザー端末の情報を準リアルタイムで表示します。端末の認証状態や、制限状態を把握することができます。端末ごとに、ロックや強制接続などの個別処理も可能です。
ログ解析	POPCHAT-X が収集したログや、ユーザーの回答したWi-Fi利用統計の結果から、本日・今月の単位でログ集計し、解析を行います。ユーザーのWi-Fi接続数推移や、性別、国籍別のWiFi認証数推移などのホームタブより詳細な集計を行うことができます。 POPCHAT-X DashBoard でのログ解析は、アカウント配下の POPCHAT-X に限ります。より大規模な解析には LBMDynamics を利用を推奨します。
ログダウンロード	認証ログ、接続ログなどの各種ログがCSV形式でダウンロードできます。ダウンロードできるログはダウンロード時点で先月分の確定ログです。
死活監視	POPCHAT-X 本体、 POPCHAT-X 配下の外部機器の死活監視を行うことができます。 POPCHAT-X 配下の外部機器の監視には、設定画面から監視対象機器のIPアドレスの登録が必要です。
お知らせ	死活監視のアラートや、 POPCHAT-X に関連するアップデートやサーバーメンテナンスの情報が表示されます。 POPCHAT-X の状況を網羅的に把握したい場合に便利です。
災害モード切替	地震などの有事の際に、アカウント配下の POPCHAT-X の動作モードを即座に災害モードに切り替えることができます。災害モード時は事前に設定しておいた認証設定が反映されます。
バージョン管理	POPCHAT-X のバージョン管理ができます。一定期間内でWi-Fiオーナーの任意のタイミングで POPCHAT-X のアップデートを実行することができます。

■ 概要

POPCHAT-X DashBoardでは、**POPCHAT-X**が取得した情報を簡易集計し訪問者の属性や端末の回線速度を把握することができます。集計はゲートウェイ別に行うこともできます。当日/今月の情報を表示します。詳細な解析は**DashBoard**のログ解析機能や**LBM Dynamics**を使用してください。

集計単位	内容
本日	集計開始時点からみて、本日の00:00 ~ 集計開始時点までのログデータを集計します。
当月	集計開始時点から見て、当月の1日00:00 ~ 集計開始時点までのログデータを集計します。

■ ホームタブで表示する項目一覧

項目	内容	例
人流数	本日/今月の訪問者のユニーク数を表示します。	3000人
現在の認証数	現在の認証数を表示します。	1500人/6000
現在の回線速度	現在の回線速度を表示します。	100Mbps
1人あたりの帯域	現在の1人あたりの回線速度を表示します。	0.58Mbps
クラウド認証保持数	現在のクラウド認証保持数を表示します。分母は契約に応じた上限値です。	1000 / 10000人
累計認証数	本日/今月の累計認証数を表示します。分母は敬宇役に応じた上限値です。	1000 / 10000人
セッション制御	本日/今月のセッション制御回数を表示します。	32回 28端末
帯域制御	本日/今月の帯域制御回数を表示します。	22回 17端末
国籍別	本日/今月のWi-Fi利用者の国籍比率を表示します。	比率を円グラフ表示
性別	本日/今月のWi-Fi利用者の性別比率を表示します。 ※1	比率を円グラフ表示
年代別	本日/今月のWi-Fi利用者の年代比率を表示します。 ※1	比率を円グラフ表示
リピート率	過去90日の認証数からリピート率を算出します	比率を円グラフ表示

※1 Wi-Fi利用統計をONにしていない場合にはご利用できません。

<https://popchat.jp/document/dashboard/home.html>

■ 項目詳細

人流数

本日・今月の期間のうち、滞在時間0を除くユニークユーザー数を表示します。

現在の認証数

閲覧時点で、認証状態にある端末の数を表示します。

現在の回線速度

POPCHAT-Xを経由する通信の総トラフィック量を表示する。**現在未実装。**

1人あたりの帯域

現在の回線速度を現在の認証数で割ったもの。**現在未実装。**

クラウド認証保持数

閲覧時点で、認証保持状態にある端末の数を表示します。

累計認証数

本日・今月の期間での、累計認証数を表示します。

セッション制御

本日・今月の期間で、**POPCHAT-X**が行ったセッション制御回数と制御対象となった端末数を表示します。

帯域制御

本日・今月の期間で、**POPCHAT-X**が行った帯域制御回数と制御対象となった端末数を表示します。

■ 項目詳細

国籍別

本日・今月の期間の認証のうち、どの国籍の人がどれくらいの割合いるのかを円グラフで表示します。

性別

本日・今月の期間の認証のうち、どの性別の人がどれくらいの割合いるのかを円グラフで表示します。
Wi-Fi利用統計をONにしていない場合は、表示されません。

男性 / 女性 / 答えたくない

年代別

本日・今月の期間の認証のうち、どの年代の人がどれくらいの割合いるのかを円グラフで表示します。
Wi-Fi利用統計をONにしていない場合は、表示されません。年代識別は次のとおりです。

10代 / 20代 / 30代 / 40代 / 50代 / 60代 / その他

リピート率

閲覧時点から過去90日での認証回数を元に、Wi-Fiをリピートするユーザーがどの程度いるのかを、分類して表示します。
ユーザー識別は次のとおりです。

識別	内容
新規	過去90日で1度しか認証をしていない端末。
ライト	過去90日で2回以上、30回未満の認証数の端末。
ミドル	過去90日で30回以上、60回未満の認証数の端末。
ヘビー	過去90日で60回以上認証をしている端末。

■ 項目詳細

LMB Dynamicsボタン

LMB Dynamics利用者のダッシュボード画面に表示するボタン。
こちらをクリックすると**LMB Dynamics**で用意されている分析画面に遷移する。

■ ホームタブの動き

項目	内容
更新タイミング	ダッシュボードアクセス時と、画面の更新ボタンを押したタイミングで集計情報が更新されます。他タブの更新ボタンとは連携していないため、何時時点の情報なのかは、画面に表示されている時間を参照してください。
アカウントによる違い	子アカウントでログインした場合は、認証数の上限値が画面に表示されます(ex: XX / 6000)。親アカウントでログインした場合は、認証数の上限値が画面に表示されません。親アカウントでログインした場合は、画面上部に、親アカウントに関連する子どもアカウントの情報が表示されます。また、集計対象として選択するゲートウェイに子アカウントのゲートウェイが表示されます。
Meraki@POPCHAT	Merakiの場合は制御処理は行えないので、セッション制御、帯域制御の項目はデータが蓄積されません。

■ 概要

POPCHAT-X DashBoardでは、端末のMACアドレスや国籍やデバイス情報を元に、端末の稼働状況を把握することができます。
POPCHAT-X配下で帯域をアラート超えた端末をロックしたり、何らかの理由で端末が仮認証から進まない場合に、強制的にインターネット接続可能にするような個別処理を実行することができます。個別処理が反映されるまでには、3分程度の時間を要します(**POPCHAT-X DashBoard**から指示が発行されて、**POPCHAT-X**から情報が反映されるまでの時間)。

■ 稼働状況タブで表示する項目一覧

項目	内容	例
MACアドレス	POPCHAT-X 配下の端末のMACアドレス	00:AA:11:BB:22:CC
ゲートウェイID	POPCHAT-X のゲートウェイID	GPOP2021001
ポート	端末が利用しているポート番号	825
ポートラベル	ポートに割り当てられたラベル	玄関ホール
国/言語	Wi-Fi利用者の推測国籍/言語	JP-ja
デバイス	Wi-Fi利用者のデバイス	smartphone
開始	各種処理開始時間	01-07 20:45:21.0
終了	各種処理終了時間	01-07 22:45:21.0
ステータス	認証中やロックなどの端末状態	認証中
処理実行	Wi-Fiオーナーが実行できる処理開始ボタン	ロック

■ 稼働状況で表示されるステータス一覧

ステータス	説明
仮認証	仮認証中の端末を表します。仮認証時間は3分間です。
認証中	認証中の端末を表します。
通信中	認証済みでインターネット通信中の端末を表します。
制限中(S)	端末のセッション数の設定値を超過したために POPCHAT-X が制限処理を行っている状態です。
制限中(B)	端末の使用帯域が設定値を超過したために POPCHAT-X が制限処理を行っている状態です。
超過中(S)	POPCHAT-X の制限処理をOFFで稼働している場合で、セッション制限値を超過している状態です。
超過中(B)	POPCHAT-X の制限処理をOFFで稼働している場合で、帯域制限値を超過している状態です。
停止中	制限処理中に、更に設定値を超過したために端末の通信を停止(=ロック)している状態です。インターネットに接続できません。
ロック	認証に3回失敗した端末が POPCHAT-X によってロックされた状態です。インターネットに接続できません。
強制ロック	Wi-Fiオーナーによってロック処理が行われた状態です。インターネットに接続できません。

■ 稼働状況で処理実行ボタン

処理実行ボタン	説明
ロック	認証中またはインターネット接続中の端末をロックすることが出来ます。 ロック状態は手動で解除しない限り、当日の23:59:59まで継続します。
ロック解除	ロック状態の端末のロックを解除して、認証前の状態に移行させます。
強制接続	仮認証状態の端末を強制認証して、通信可能状態に移行させます。強制接続によるインターネット接続可能時間は 1時間 です。1時間後には認証前の状態に移行します。

■ 項目詳細

稼働状況識別	説明
仮認証	仮認証タイミングにある端末の情報を表示します。 ダッシュボードが仮認証状態を判断するのは認証画面アクセス時です。
認証中	認証中の状態にある端末の情報を表示します。 ダッシュボードが認証状態を判断するのは、本認証後～認証終了時間までです。
通信中	インターネット通信中の状態にある端末の情報を表示します。 PXFのARPテーブルに出入りするMACアドレスが存在したタイミングで情報が送信されます。
制限中(S)	PXFがセッション超過により制御中の端末の情報を表示します。 Session制御を有効にするという設定がされている場合にのみ表示されます。
制限中(B)	PXFが帯域超過により、制御中の端末の情報を表示します。 帯域制御を有効にするという設定がされている場合にのみ表示されます。
停止中	PXFが2度目のセッション超過により、通信を停止している端末の情報を表示します。
ロック	PXFがロック処理を行っている端末の情報を表示します。 これは手動で行ったロック処理は含みません。仮認証の連続した失敗で動作する処理です。
強制ロック	稼働状況タブから、強制ロック処理を行った端末の情報を表示します。 強制ロックの解除時間は、強制ロック開始時点で当日の23:59:59です。

■ 項目詳細

稼働状況識別	説明
超過中(S)	PXFの制限処理が有効になっていない場合に、PXFに設定されているセッション制御の閾値を超過した場合に、その端末の情報を超過時点から30分だけ表示します。
超過中(B)	PXFの制限処理が有効になっていない場合に、PXFに設定されている帯域制御の閾値を超過した場合に、その端末の情報を超過時点から30分だけ表示します。

■ 稼働状況タブの動き

項目	内容
更新タイミング	ダッシュボードアクセス時と、画面の更新ボタンを押したタイミングで集計情報が更新されます。他タブの更新ボタンとは連携していないため、何時時点の情報なのかは、画面に表示されている時間を参照してください。
アカウントによる違い	親アカウントでログインした場合は、集計対象として選択するゲートウェイに子アカウントのゲートウェイが表示されます。
検索機能	MACアドレス検索では入力した文字列を即時検索して絞り込みを行います。大文字小文字は区別しません。ステータスでの絞り込みは、プルダウンでステータスを選択してもらうとそのステータスの端末のみが表示されます。
Meraki@POPCHAT	Merakiの場合は仮認証と、認証中のみが機能します。

■ ログ解析機能

POPCHAT-X DashBoardのログ解析機能では、Wi-Fiオーナーが収集したログ情報を集計し、本日/当月の単位で解析することができます。ダッシュボード上の機能ではWi-Fiオーナーのアカウントに紐づくデータの集計ができます。

集計単位	内容
本日	集計開始時点からみて、本日の00:00 ~ 集計開始時点までのログデータを集計します。
当月	集計開始時点から見て、当月の1日00:00 ~ 集計開始時点までのログデータを集計します。

■ ログ解析機能で集計できる項目一覧

項目	内容
総接続数推移	接続数の推移を集計して表示します。接続とは認証後のインターネット通信が行われた状態を指します。
制御回数推移	POPCHAT-X が行ったセッション制御と帯域制御の回数推移を表示します。
接続時間推移	時間帯ごとの接続時間の最大・最小・平均を表示します。
性別比率	POPCHAT-X 配下で行われた認証のうち、Wi-Fi利用統計のデータを元に、性別比率を表示します。Wi-Fi利用統計をONにしていない場合には集計されません。
年代比率	POPCHAT-X 配下で行われた認証のうち、Wi-Fi利用統計のデータを元に、年代比率を表示します。Wi-Fi利用統計をONにしていない場合には集計されません。
国籍比率	POPCHAT-X 配下で行われた認証のうち、国籍比率を表示します。
言語比率	POPCHAT-X 配下で行われた認証のうち、言語比率を表示します。
デバイス比率	POPCHAT-X 配下で行われた認証のうち、デバイス比率を表示します。
OS比率	POPCHAT-X 配下で行われた認証のうち、OS比率を表示します。
認証方式別推移	POPCHAT-X 配下で行われた認証のうち、認証方式ごとの認証回数の推移を表示します。

■ ログ解析タブの動き

項目	内容
更新タイミング	画面の集計ボタンを押したタイミングで集計が開始されます。
アカウントによる違い	親アカウントでログインした場合は、集計対象として選択するゲートウェイに子アカウントのゲートウェイが表示されます。
制限	ゲートウェイ、グラフタイプ、期間のいずれかが未入力だと集計されません。
集計時間	集計するデータ量によっては5~10分程度の時間を要します。10分以上立っても集計が終わらない場合はログを確認すると良いかもしれません。エラーを吐いている可能性があります。
Meraki@POPCHAT	Merakiの場合は、総接続数、制御回数、接続時間の推移はデータが蓄積されない。

■ ログ解析機能

POPCHAT-X DashBoardのログダウンロードタブでは、Wi-Fiオーナーが収集したログ情報を集計し、ダウンロードすることができます。直近24カ月以内の確定ログから、1回の実行あたり年月指定された1ヶ月分をダウンロードすることができます。

■ ログ解析機能で集計できる項目一覧

ログ名	ログ内容説明
認証ログ	POPCHAT-X が収集した認証ログを集計し、ダウンロードできます。一部の情報はWi-Fi利用統計を元になっているため、Wi-Fi利用統計をONにしていない場合には集計されません。誰が、いつ、どんな認証を行ったのかを解析したい場合に有効です。
接続ログ	POPCHAT-X が集計した接続ログを集計し、ダウンロードできます。インターネットに接続するタイミングで収集するログなので、認証後にどんな動きをしたのかをポート単位で把握したい場合に有効です。
制御ログ	POPCHAT-X 配下で制限値を超過した端末の情報を集計し、ダウンロードできます。月間あたりの通信状況を大まかに把握したい場合に有効です。制限値超過の常習犯を見つける場合にも有効です。

■ 認証ログで取得できる項目一覧 「ダウンロードファイル名：{日付}_authlog.csv」

項目	単位	内容	例
MACアドレス	-	端末のMACアドレス	00:AA:11:BB:22:CC
アカウントID	-	アカウントID	APOP2020039
ゲートウェイID	-	POPCHATのゲートウェイID	GPOP2021001
ポート	-	端末が利用しているポート番号	825
ポートラベル	-	ポートに割り当てられたラベル	玄関ホール
認証開始	-	端末の認証開始時間	2021-01-07 20:45:21 +0000
認証終了	-	端末の認証終了時間	2021-01-07 22:45:21 +0000
認証方式	-	認証時の認証方式	ベーシック認証
国	-	端末の利用者の国籍情報	JP
言語	-	端末の利用者の使用言語情報	ja
OS	-	端末のOS情報	Windows10
デバイス	-	端末のデバイス情報	pc
アプリ	-	端末のアプリ情報	Chrome
性別	-	端末の利用者の性別情報 ※1	male
年代	代	端末の利用者の年代情報 ※1	20代

※1 Wi-Fi利用統計をONにした場合のみ取得できます。OFFの場合は-(ハイフン)が挿入されます。

■ 接続ログで取得できる項目一覧 「ダウンロードファイル名：{日付}_activelog.csv」

項目	単位	内容	例
MACアドレス	-	端末のMACアドレス	00:AA:11:BB:22:CC
アカウントID	-	アカウントID	APOP2010038
ゲートウェイID	-	POPCHATのゲートウェイID	GPOP2021001
ポート	-	端末が利用しているポート番号	825
ポートラベル	-	ポートに割り当てられたラベル	玄関ホール
IPアドレス	-	端末のIPアドレス	127.0.0.1
接続開始時間	-	端末の接続開始時間	2021-01-07 20:45:21 +0000
接続終了時間	-	端末の接続終了時間	2021-01-07 22:45:21 +0000

■ 制御ログで取得できる項目一覧 「ダウンロードファイル名：{日付}_ctrllog.csv」

項目	単位	内容	例
MACアドレス	-	端末のMACアドレス	00:AA:11:BB:22:CC
アカウントID	-	アカウントID	APOP2013301
ゲートウェイID	-	POPCHATのゲートウェイID	GPOP2021001
ポートグループ	-	ポートグループ番号	11
制限タイプ	-	Limit, Block, Forced, Monitor ※1	Limit
制御タイプ	-	Session, Bandwidth, Lock, Connect, Release ※2	Session
制御開始時間	-	POPCHATが制御を開始した時間	2021-01-07 20:45:21 +0000
検知値	Kbps セッション数	POPCHATが超過を検知した値	1000
制限値	Kbps セッション数	POPCHATが制限をかけている値	500

※1 Limitは制限処理、Blockは停止処理、Forcedは強制処理、Monitorは閲覧モード

※2 Sessionはセッション検知、Bandwidthは帯域検知、Lockはロック状態

■ ログダウンロードロードタブの動き

項目	内容
アカウントによる違い	親アカウントでログインした場合は、集計対象として選択するゲートウェイに子アカウントのゲートウェイが表示されます。
仕様	ゲートウェイIDを選択しない場合は、すべてのゲートウェイを対象として集計します。
Meraki@POPCHAT	Merakiの場合は認証ログと監視ログのみ利用可能予定です。 接続ログと制御ログはMerakiの場合は蓄積しません。

■ 死活監視機能の項目

POPCHAT-X DashBoardでは、**POPCHAT-X**本体の死活状況と、**POPCHAT-X**の配下で稼働している外部機器の状況を確認できます。

項目	内容
ゲートウェイ監視	POPCHAT-X 本体の死活状況を見える化します。
外部機器監視	POPCHAT-X 配下で稼働する外部機器にPING監視を行い、死活状況を見える化します。

■ ゲートウェイ監視機能の詳細

ゲートウェイ監視機能ではアカウントに登録されたゲートウェイの死活状況を**接続中**か否かを見える化します。

POPCHAT-Xはいずれの認証処理のない状態でも、1分に1度、**POPCHAT-X**クラウドに通信を試みます。その機能を利用し、**2分以上の接続アクションがない場合には、POPCHAT-XクラウドはPOPCHAT-Xとの通信を切断中と判断します。**

ゲートウェイ監視タブでは下記のような項目が表示されます。

項目	内容
ゲートウェイタイプ	POPCHAT-X の種類を判別するタイプです。ご利用中のタイプが表示されます。
ゲートウェイID	POPCHAT-X の識別IDです。Gから始まる英数字で構成されています。
設置場所	POPCHAT-X の設置場所です。登録されている場所が表示されます。
最終確認日時	POPCHAT-X から POPCHAT-X クラウドに何らかのアクションがあった最終日時を示します。こちらが2分以上経過しても更新されない場合には、 POPCHAT-X クラウドは POPCHAT-X と切断されたと判断します。
ステータス	切断中・接続中・エラー のうちいずれかが入ります。設置直後や何らかの理由で POPCHAT-X クラウド側での処理が失敗した場合にエラーが表示されます。時間をおいても回復しない場合にはサポートまでお問い合わせください。

■外部機器監視機能の詳細

- 外部機器監視機能ではアカウントに登録されたゲートウェイの配下で稼働する外部機器の死活状況をPING監視により判断し、**接続可能**か否かを見える化します。監視の実行には監視対象の機器のIPアドレスの登録が必要です。
- 外部機器監視は時間に1度、自動で実施されます。また、手動で任意のタイミングで**POPCHAT-X**配下の外部機器にPING監視を実行することができます。
- 外部機器監視は直近のPING監視の結果を元に、パケットロス率を計算します。パケットロス率を元に、**POPCHAT-X**配下の外部機器が接続可能であるかを判断します。

外部機器監視タブでは下記のような項目が表示されます。

項目	内容
ゲートウェイID	POPCHAT-X の識別IDです。Gから始まる英数字で構成されています。
Nameタグ	監視対象を登録する際に監視対象につけたNameタグです。外部機器の識別子として機能します。
IPアドレス	POPCHAT-X 配下の外部機器のIPアドレスです。監視対象として登録されている必要があります。
最終検査日時	POPCHAT-X 配下の外部機器に対して、PING監視を行った、直近の日時を表示します。表示されているステータスはこの日時に実行されたPING監視の結果を使用しております。
パケットロス率	PING監視を実施した際のパケットロス率を表示します。これを元にステータス値が変化します。
ステータス	上記、パケットロス率の値でステータス値を表示します。 0% の場合は、 接続良好 1% ~ 99% の場合は、 接続可能 100% の場合は、 切断中
PING監視実行ボタン	任意のタイミングでPING監視を実行したい場合に押下します。実行すると対応する POPCHAT-X に実行依頼が送信され、PING監視の結果を POPCHAT-X クラウドに返送します。実行結果が返却されるまでには3分程度の時間を要します。

■ 死活監視タブの動き

項目	内容
アカウントによる違い	親アカウントでログインした場合は、集計対象として選択するゲートウェイに子アカウントのゲートウェイが表示されます。子アカウントが外部機器監視に登録している外部機器の情報が表示されます。
仕様	ゲートウェイが切断されている場合は、そのゲートウェイ配下の外部機器の情報は表示されません。
Meraki@POPCHAT	Merakiの場合は死活監視機能は利用できません。

■ お知らせ機能

POPCHAT-X DashBoardには、**POPCHAT-X**クラウドの最新のアップデート状況や、セッション数や帯域を圧迫する端末の存在をお知らせする機能があります。お知らせ機能を利用することで、サマリー的に現在の状態を把握することができます。

■ お知らせ機能で表示する項目一覧

項目	内容
コールバック認証数	コールバック認証を利用している場合に表示されます。コールバック認証には上限数が設けられており、現在の認証数がどの程度かを表示します。
制御対象の端末アラート	POPCHAT-X には設定したセッション数、帯域値を超過した端末に制限をかける機能が備わっています。お知らせタブでは制限処理のON/OFFに関わらず、設定値を超過した端末が1日にどれだけ存在するのかを表示します。制限処理をかけるかどうかの参考にご利用ください。
POPCHAT-X 監視アラート	POPCHAT-X は1分に1度、 POPCHAT-X クラウドとの通信を行っております。この通信が2分以上途切れた場合には、 POPCHAT-X との通信が切断されていると判断し、お知らせタブにアラートを表示します。
外部機器監視アラート	POPCHAT-X は24時間に1度、 POPCHAT-X 配下に接続された外部機器にPING監視を行い、外部機器との通信が正常かどうかを調査します。これは任意のタイミングでの実施も可能です。これらの結果に切断されている状態のものが含まれている場合には、外部機器に以上があると検知し、お知らせタブにアラートを表示します。
サポート通知	POPCHAT-X の障害情報や、 POPCHAT-X クラウドのサーバーメンテナンス、アップデートの情報を通知します。通知内容の詳細は表示されたリンクをたどって、 POPCHAT のホームページから確認できます。閲覧時点から30日以内に通知があった場合はnewの表示が出ます。

■ 災害モード切替機能

POPCHAT-Xが災害モードに対応している場合（**LG-POPCHAT-X**シリーズ機種のみ対応）、**POPCHAT-X DashBoard**では、**POPCHAT-X**の認証動作モードを切り替えることができます。

地震などの有事の際に、Wi-Fiオーナーは素早くモードを変更することができます。

■ POPCHAT-Xのモード一覧

モード名	内容
通常モード	Wi-Fiオーナーが設定した認証方式を用いて、認証を行います。
災害モード	災害発生時のインフラとして、Wi-Fiオーナーが事前に設定した災害時の認証設定を用いて認証します。 認証方式はベーシック認証のみです。

■ 災害モードタブの動き

項目	内容
アカウントによる違い	親アカウントでログインした場合は、子アカウントの稼働状況が表示されます。子アカウントの災害モードを切り替えることはできません。
仕様	現在の稼働状況がボタンの色合いで把握できます。
Meraki@POPCHAT	Merakiの場合には、災害モード切り替え機能は非対応です。

■ POPCHAT-Xのバージョン管理機能

POPCHAT-X DashBoardにはPOPCHAT-Xのバージョンを管理する機能があります。

即時、あるいは一定期間内の任意のタイミングでPOPCHAT-Xのアップデートを実行することができます。

■ バージョン管理機能の用語

用語	内容
現在のバージョン	当該POPCHAT-X機器本体で現在適用され稼働中のファームOSのバージョンが表示されます。
最終適用日	現在のバージョンにアップデートされた直近のファームOS新バージョン適用日時が表示されます。
自動リリース日	当該POPCHAT-X機器本体のファームOS稼働中バージョンが最新でなかった場合に、自動的に最新ファームOSのバージョンへとアップデートが実行される日付（AM3:00～）が表示されます。当該最新バージョンのファームOSリリースから60日後が、自動リリース日となります。
今すぐアップデート	ボタンを押したタイミングで最新バージョンのファームOSへのアップデートが実行されます。 ※アップデートには本体の再起動を要します、ご了承ください。
GWは最新版です	上記「現在のバージョン」がファームOS最新バージョンである場合には、上記「今すぐアップデート」ボタンの代わりに「GWは最新版です」とのボタン表記となり、押下しても何も動作しません。

■ バージョンアップの手順

1. 管理者アカウントで、**POPCHAT-X DashBoard** (admin.auth24.jp) にログイン。
2. 「ダッシュボード」内の「バージョン管理」をクリック。
3. 「今すぐアップデート」ボタンをクリック。
4. クリック後、機器再起動が発生しアップデート完了。

※POPCHAT-X機器本体ファームOSのアップデートに関して、アップデートを実行しないままリリース後60日経過しすると、60日後のAM3:00～4:00の間で、自動アップデートが行われます。

※リリース60日後AM:3:00～の自動アップデートは、60日経過未満で更に次のファームOS新バージョンがリリースされると、当該最新バージョンのリリース日から60日後に自動延期となりますので、出来るだけご都合を調整いただき「今すぐアップデート」ボタンの実行をお願い致します。

■ バージョン管理タブの動き

項目	内容
アカウントによる違い	親アカウントでログインした場合は、子アカウントのゲートウェイ情報も表示されます。ただしアップデート日時を指定したり、子アカウントのゲートウェイを即時アップデートは無効にしています。
仕様	日時を指定した場合は、分単位以下は無視されます。これはアップデート用のバッチが1時間に一回の単位で徘徊する(予定)ためです。 日時を指定する場合は、指定開始時刻より1時間後以降でないと設定できません。これもアップデート用のバッチが1時間に一度徘徊する(予定)のためです。 アップデートで再起動が発生するかどうかはリリースノートを確認してください。
Meraki@POPCHAT	Merakiに対しては、アップデート機能はありません。



POPCHAT-X株式会社

東京本社 : 東京都豊島区東池袋3丁目20-3